

4 K 外科手術用内視鏡システムを導入します -県内の病院では初-

横浜医療センター（横浜市戸塚区原宿 3-60-2）では、新たに 4K 外科手術用内視鏡システムを導入し稼働を開始します。

【導入の背景】

腹部外科領域手術においては 34.6%が内視鏡手術となり、他の診療科も同様に年々増加しています。現在、当院では、3 台のフルハイビジョンの外科手術用内視鏡システムが稼働していますが、消化器外科、呼吸器外科、婦人科、泌尿器科と多くの診療科で内視鏡手術が行われるようになり、同システムが不足の状態でした。

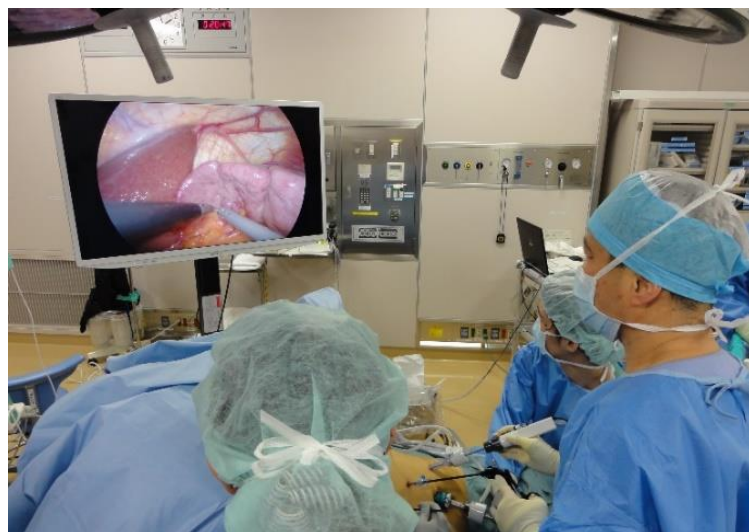
【機器の特徴と期待される効果】

今回導入するシステムは、一般家庭にも浸透しつつある 4K のビデオシステムを採用しています。これまでのフルハイビジョンの 4 倍の画素数になり、細部までクリアで高精細な映像が得られ、さらに精緻な手術が可能になります。そのほか、55 インチ大画面モニターで物理的に大きく見ながらの手術は、より繊細な手術操作を可能とすることが期待されます。

本システムの導入により、今後さらに患者さんにやさしい手術を提供できるものと期待しています。

【参考 導入機器】：4K 外科手術用内視鏡システム

- ・VISERA 4K UHD カメラコントロールユニット
OLYMPUS OTV-S400
- ・VISERA 4K UHD 高輝度高原装置 OLYMPUS CLV-S400
- ・4K モニター（55 型）LMD-X550S
- ・4K カメラヘッド OLYMPUS CH-S400-XZ-EB
- ・高解像硬性腹腔・胸腔鏡
- ・4K レコーダー



写真の説明：4K 外科手術用内視鏡システムの評価のために試用しているところです。55 インチ大画面のため、術者から多少離して設置しても細かい部位の把握が容易となります。

【インタビュー（取材）のご案内について】

インタビューについては、随時お受けします。ご希望の場合は、事前、下記お問い合わせ先にご連絡ください。日程等を調整させていただきます。

広報グループ	いしだ 石田	しゅうじ 秀志	お問合せ先	電話：045-851-2621	（内線 8052）
〃	せきまわ 関和	のぞみ 望実	〃	〃	（内線 8024）